

町内の砂浜にウミガメが産卵

5月から8月はウミガメの産卵時期で、町内の砂浜にもウミガメが訪れています。6月9日(火)には、入野の浜に産卵した様子が見られ、高知県うみがめ保護スタッフである阿部年博^{としひろ}さんが調査、保護のために卵を掘り起こし、安全な場所へ移動しました。今回は122個の卵が確認されました。

ウミガメは神経質で、海岸が明るかったり騒がしかったりすると砂浜へ上陸しても産卵せずに帰ってしまうこともあります。また、卵が孵化するまでに台風などで流されたり、孵化してもすべてが成長できるわけではありません。

阿部さんは、「昨年はウミガメの上陸が少なかったが、今年は例年通りになるのではないかと。移動した場所は踏んだりしないように、カメの成長を温かく見守ってほしい」と話しました。



卵を移動した場所



調査を行う阿部さん

南郷小 ラッキョウPRグッズ販売

町名産のラッキョウをアピールしたいと南郷小学校の5・6年生がオリジナルグッズを作成し販売しています。

同小学校では、総合的な学習の時間にラッキョウについて学び、「町のラッキョウをたくさんの人に知ってもらいたい」という思いから、マスコットキャラクターやレシピーの考案などを行ってきました。今回は、昨年9月に高知市のひろめ市場で児童らが販売した「クジライス(※)」の収益を資金に、キャラクターのイラストを描いたTシャツ型の付箋を作成し、ネスト・ウエストガーデン土佐などで販売されています(6月23日現在)。



販売中のグッズをPRする児童ら

※南郷小の児童らが地域の方と栽培した米。

Will ~あなたの思いを旗に乘せて~

5月1日(金)に黒潮町で始まった「Will」プロジェクト。開始から約2カ月が経過しますが、町内各地はもちろん、町外にも広がっています。個人や事業所、また、県内の他自治体や、過去黒潮町へ合宿などで訪れてくださっていたスポーツ団体など、多くの方がこの町を離れた場所から参加してくださっています。この場をお借りしてお礼申し上げます。

掲揚の終了日は決まっていません。町だけではなく、日本全国、そして世界でこの事態が終息するまで、皆様のご協力をよろしくお願いします。

町外から賛同してくださっている皆さん(一部を紹介)



土佐くろしお鉄道(中村駅)



東京大学大学院 片田敏孝教授



梶原町職員と雲の上の図書館職員の協力により青い本で旗を表現



専修大学野球部

皆さんが作成・掲揚してくださった青い旗の写真を募集しています。

送信方法など詳細は町公式ホームページをご確認ください。

■黒潮町公式HP「Will ~あなたの思いを旗に乘せて~」

<https://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/topics/23339>

〇お問い合わせ 本庁 企画調整室 企画振興係 ☎43-2177

